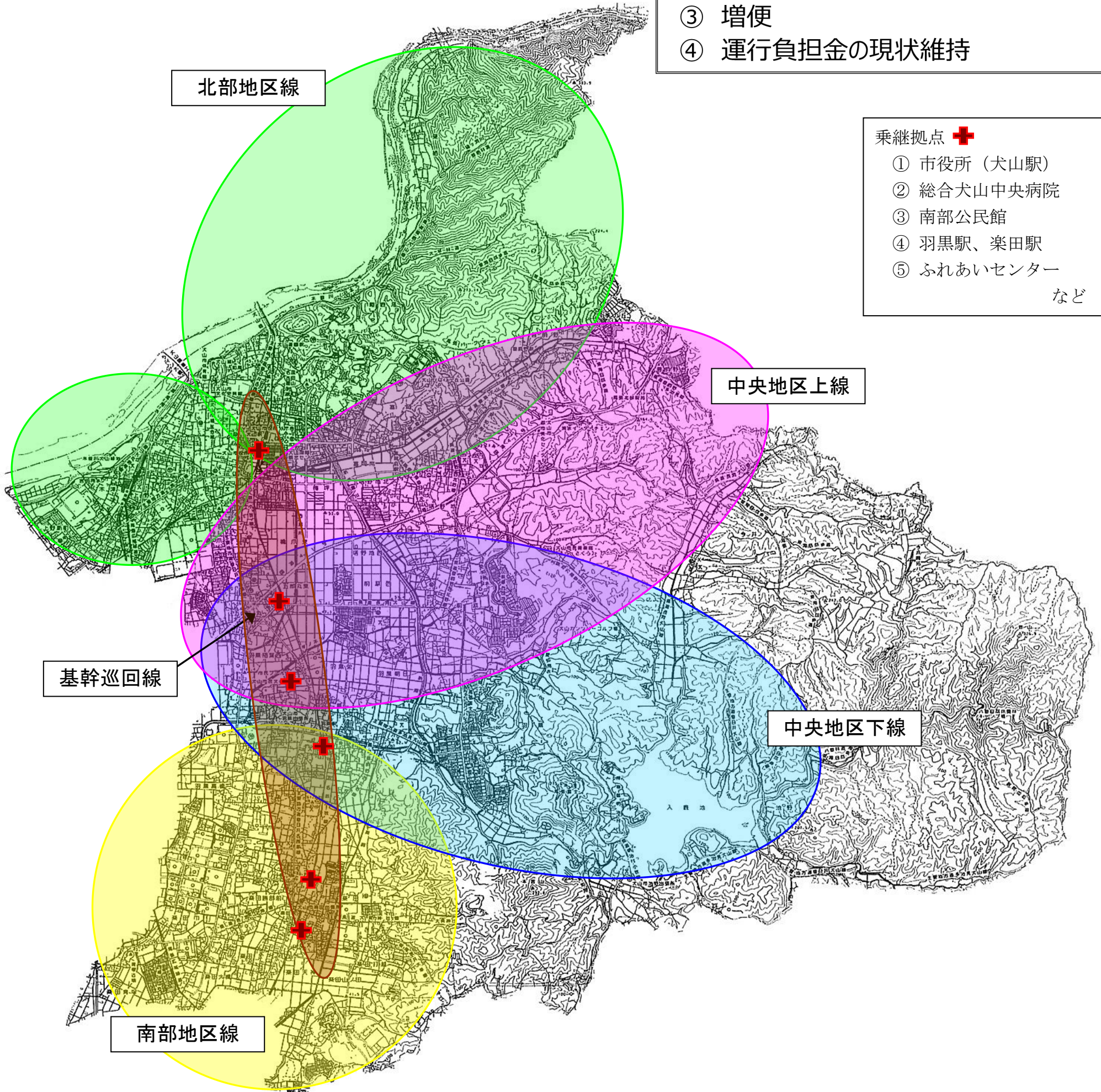


2. 犬山市公共交通再編イメージ（案）

基幹巡回バスに各エリアのバスを連結

犬山市公共交通再編のターゲット

- ① 交通空白地・交通不便地域の減少
- ② 毎日運行（月曜日～金曜日）
- ③ 増便
- ④ 運行負担金の現状維持



乗継拠点 **+**

- ① 市役所（犬山駅）
- ② 総合犬山中央病院
- ③ 南部公民館
- ④ 羽黒駅、楽田駅
- ⑤ ふれあいセンター
など

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じた路線及び生活圏に応じた路線とすることにより、運行ルートが効率化が図れ、運行本数が確保できる。 ・生活圏に応じた路線を設定することで、きめ細かなルートの設定も可能となる。 ・バス台数を現状の5台を踏襲できるため、経費負担を現状程度に抑えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹路線については、名鉄小牧線との競合区間が生じる可能性がある。 ・地域間の移動に関しては、乗継が必要となるため、乗継拠点でのスムーズな乗継のためのダイヤ調整や待合環境の整備が必要となる。 ・地域内のきめ細かなルート設定により、目的地までの所要時間が拡大する場合もある。